

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	奈良県広域消防組合			代表者名	消防長 寺崎 至亮
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	情報システム課	連絡先電話番号	0744-26-0119
担当者役職	指導官	担当者氏名	増田 通久	連絡先E-mail	
住所	634-0816 奈良県橿原市慈明寺町149番地の3				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	DX推進プロジェクト
概要	厳しい財政状況の中、災害増により業務量は増加しており、より効率的かつ効果的な組織運営が必要となる。アドバイザーの方に当組合の運営状況を把握していただいたうえで、専門的第三者視点から見た有効なデジタル化の提案及び縮小・削減できる業務の検討に、数多くの助言をいただきたい。		
支援を求める分野	働き方 その他		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻		
	令和6年11月20日	支援・助言	15時00分	17時00分	
				活動時間(分)	120

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山澤 浩幸
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	現在多くの自治体で抱える人口減少問題を背景に、消防業務においては継続してマンパワーが必要となる(消防活動における職員減少は行政サービスの低下につながる)ことをレポートとして作成することができました。また、事務面を考えた時、日々の業務に潜むムリ、ムダ、ムラを改善するためにできること(すべきこと)を、第三者的視点から合理的な提案をいただくことができました。いずれも同規模の自治体の事例を参考に説明いただけただけで、当組合の業務改善にあってはめやすいというメリットがあり、当組合が取り組んでいくべき方向性を見出すことができました。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	4人
	属性	自治体職員	住民
	人数	4	
		企業・団体	その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	事務職員の人員削減につながるシステムの導入及び業務改善として不要な業務の廃止や変更に向け、DX推進プロジェクトを立ち上げて検討を進めている。現在、当該プロジェクト内で抽出された課題の解消に取り組んでいるが、当組合職員だけで解決していくことは困難である。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	事務職員の人員削減につながるシステムの導入及び不要な業務の廃止や変更を進めていくために、デジタル化を含めた業務改善を進め、職員個々の不要な負担を減らし、現場対応職員の人員配備を強化することによって、質の高い住民サービスの提供を目指す。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	①DX推進プロジェクト抽出課題である39個の全課題についての補足箇所の助言。 ②DX推進プロジェクト報告方針として、検討した課題は実績を示すためにも実行部会へ提示するべきであること。 ③事業の検討から実行までの指摘として、先送りすることは予算の確保を含めると1年以上の先送りとなるため、速度間をもって取り組む必要があること。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	①DX推進プロジェクト抽出課題に今回の補足内容を反映させて整理することで、次回以降の会議で検討することができる。 ②検討した課題を実行部会へ提案することは提案者(検討グループ)にとっても実績となるため、すでに解消されている課題以外は提案することとする。 ③業務のデジタル化を進めるために必要となる予算は高額なものが多く、提示が遅れると実現が困難になることもあり、早期の予算化に着手する。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 ・「DXにおける人員削減の可能性について」(講師監修) ・「提案シート」(DX推進プロジェクトで提出された39個の課題)
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは実施していない。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他 全5回の協議で得られた知識や取り組み方を今後のDX推進プロジェクトへ反映させる。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	人口減少社会下でも変わらない住民サービスが提供できる組織	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

